



昭島市立清泉中学校
第2学年 学年通信 第9号
令和6年5月31日(金)

▶ さあ、ひっくり返そう

この詩は以前西武、SOGOの広告に載った詩です。

だいぎゃくてん
大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫くしを駆使して闘え。
今こそ自分を貫つらぬくときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿ばかげている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明けんめいだ。
わたしはただ、為なす術もなく押し込まれる。
どひようぎわ土俵際、もはや絶体絶命ぜったいぜつめい。

上から読んだ後、下からもう一度読み直してみると、また別(反対)の意味が見えてきます。いったい誰が考えたのかわかりませんが、この発想力が今の私たちには必要なのかもしれませんね。どんなときも、ものの見方に柔軟性をもって見ていくと、自分が想像しなかったことに出くわすことがあります。

体育大会が明日となりました。体育大会前日までクラスをまとめてくれた実行委員のみんな、本当にありがとう。そして、クラスのために陰で支えてくれた人たち、ありがとう。体育大会という行事を無事行えるのは、こういう人たちの支えがあったからだと思います。走るのが苦手な人、大縄が上手くない人、悩みはそれぞれですが、こう考えてみませんか？せっかくみんなで行える行事なのだから、心の底から楽しもう！結果は他人(ひと)が決めること。大切なのは、あとで振り返ったとき、やって良かったと思える行事だったのかだと思います。数年前までは、大勢での行事はNGでした。しかし、現在(いま)は、みんなで一つの行事を共有し、思い出として残るものにできるのだから、まずは全力で楽しまないと“もったいない”です！

「勝負は下駄を履くまでわからない」という言葉があります。この詩のように、上から読むともう絶体絶命で終わってしまいそうですが、下から読み直してみると逆の意味になって、形勢逆転となります。勝負ですから、「勝ち」「負け」はついてしまいましたが、「勝ち」よりも「価値」ある行事にしてください。

写真掲載

～体育大会を楽しむ秘訣～

- ・競技に**本気**で取り組み、仲間の頑張りへの感謝を拍手や言葉で伝えよう。
- ・「**中学校の行事は生徒が運営する**」ということを踏まえ、責任をもって係活動に取り組もう。
- ・**多くの人が集まる場所では、配慮すべきこと**を踏まえた行動をとろう。

<明日の流れ・持ち物> ※お弁当・多めの水分を忘れないように！

配布された実行委員会だよりをよく確認してください。

▶ 来週の予定

日にち	授業・行事予定
6/3(月)	振替休日
6/4(火)	時間割通り
6/5(水)	時間割通り ※1日雨天順延の場合、体育大会予備日
6/6(木)	時間割通り 耳鼻科検診
6/7(金)	時間割通り 教育実習最終日 ※定期考査1週間前

